

VI 心豊かな社会をつくる

4 自然、歴史・文化の保全と活用

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
299		三瓶小豆原埋没林 保存・活用事業	6,167	<p>展示棟内埋没林の保存処理方法を検討するため、調査・解析業務を実施 [実施内容]</p> <p>展示棟内埋没林の劣化防止のため、地下水を効果的に遮断する対策を検討するための調査・解析</p>	環境生活部 [自然環境課]
300		しまねの自然公園 満喫プロジェクト 推進事業	215,604 [うち補正] 120,000	<p>大山隠岐国立公園をはじめ、県内の自然公園において、国や市町村等と連携し、島根の豊かな自然環境等を活用した体験プログラムやガイド養成、自然公園への誘客促進、安全・安心で快適に滞在できる環境を整備 (No.136 再掲)</p> <p>①自然公園を活用した誘客促進補助金 自然公園を活用した体験プログラムの拡充や、周遊促進、活動広報などの取組を支援し、県内の自然公園への誘客を促進 [助成対象者] ・しまねの自然公園満喫プロジェクトを推進する地域協議会 ・観光協会 ・法人 ・民間団体等 ※いずれも県内団体等に限る [助成対象経費] 事業の実施に必要な経費 (商品開発や販路開拓に必要な催行費、導入運営費、活動費等) [助成率] 1/2 以内 [助成上限額] 500 万円</p> <p>②自然公園の魅力発信 国内外から誘客を促進するため、県内の自然公園の魅力をホームページ等で発信</p> <p>③受入れ環境の整備 遊歩道、案内標識など安全・安心で快適に滞在できる環境を整備</p>	環境生活部 [自然環境課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
301		隠岐ユネスコ世界ジオパーク活用推進事業	270,977 [うち補正] 66,000	隠岐ユネスコ世界ジオパークを活用した隠岐地域の観光振興・産業振興のため、世界ジオパーク認定継続に向けた施設整備、広報等を通じた認知度向上及び来島者を増やすための情報発信を実施（No.137再掲） ①（一社）隠岐ジオパーク推進機構による魅力向上のための活動、広報等を支援 ②世界ジオパーク認定継続支援のため施設整備等を実施 ③隠岐の島町、海士町のジオパーク拠点施設、中核施設の整備を支援	環境生活部 [自然環境課]
302		レッドデータブック改訂事業	13,193	絶滅の危機に瀕している野生動植物の個体や生息・生育地などの保護・保全活動を推進するため、しまねレッドデータブックを改訂 [実施内容] 改訂委員会の開催及び調査、原稿作成	環境生活部 [自然環境課]
303		三瓶自然館等の魅力アップ事業	53,118	三瓶自然館等における照明のLED化や天体望遠鏡の設備更新を実施	環境生活部 [自然環境課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
304		宍道湖・中海賢明 利用推進事業	22,768	<p>ラムサール条約湿地である宍道湖・中海の保全再生と、そこから得られる恵みを持続的に活用するために、情報発信、こども交流会の開催、登録20年を契機とした記念事業を鳥取県と連携して実施 (No.138 再掲)</p> <p>①水辺に親しむ環境教育・普及啓発事業 小中学生を対象とした宍道湖や中海に流入する身近な川の調査や、湖沼環境モニターによる湖沼環境の評価を実施</p> <p>②ラムサール・大型水鳥啓発事業 ・鳥取県と連携し、こどもラムサール交流会等を実施 ・宍道湖・中海の魅力を伝える動画を制作</p> <p>③大型水鳥を活用した広域ネットワーク支援事業 民間団体、関係市及び県で構成する協議会による、トキやコウノトリの生息環境づくりや普及啓発の取組を支援</p> <p>④宍道湖・中海ラムサール条約登録20周年記念事業 ラムサール条約湿地に登録されてから20年を迎えることから鳥取県と連携し記念事業を実施</p>	環境生活部 [環境政策課]
305		島根の歴史文化活 用推進事業	33,027	<p>調査研究によって磨き上げた島根の歴史・文化について、市町村及びゆかりの深い他県と連携しながら県内外に情報発信し、文化財保存継承の気運醸成や、島根の認知度向上につなげる取組を推進 (No.147 一部再掲)</p> <p>①県内各地の多様な歴史文化をテーマとした講座やシンポジウムの開催とオンラインによる配信</p> <p>②他県と連携して古代歴史文化に関する共同調査研究を実施し、その成果を全国に発信</p> <p>③萩・石見空港を利用した県内の歴史スポットをめぐるバスツアーの実施</p> <p>④県内7つの日本遺産の魅力を全国に発信</p>	教育委員会 [文化財課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
306		未来へ引き継ぐ石見銀山保全事業	86,897	世界遺産石見銀山を適切に管理し、未来へ継承していくため、調査研究、保存整備、情報発信を実施 (No.139 再掲) ①世界遺産総合調査研究事業 ・基礎調査研究 ・テーマ別調査研究 ②世界遺産保存整備事業 ・史跡等の保存・修理 ・大田市が設置する世界遺産センターの管理運営・施設改修等への支援 ③世界遺産総合情報発信事業 講座等開催	教育委員会 [文化財課]
307	拡充	石見銀山発見 500 年記念事業	9,500	石見銀山発見 500 年・世界遺産登録 20 周年を迎える令和 9 年に向けて、石見銀山の魅力化・持続化につながる取組を段階的に実施 (No.46 一部再掲、No.140 再掲) 【拡充】 [R 7 年度実施内容] 大田市と連携し、石見銀山の整備や、記念イベント開催に向けた調整等を実施 ①大田市事業 ・大田市が設置する世界遺産センターの展示リニューアル [負担割合] 県 3/4・大田市 1/4 ・大森・鉱山エリアの見学道等の整備 [負担割合] 国 1/2・県 1/4・大田市 1/4 ②県事業 ・令和 9 年度に行う記念イベント等に向けた企画調整 ・世界遺産センター等における体験プログラムの整備	教育委員会 [文化財課]
308		古代出雲歴史博物館整備事業	188,693	古代出雲歴史博物館の天井の耐震改修工事を実施 [事業期間] R 6～8 [総事業費] 2.7 億円	教育委員会 [文化財課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
309		古代出雲歴史博物館魅力アップ事業	108,047	耐震改修工事等に伴う休館に合わせ、入館者数の増加や入館者の満足度向上を目指し、映像シアター及び展示室の改修等を実施 [事業期間] R 6～8 [総事業費] 1.6 億円	教育委員会 [文化財課]